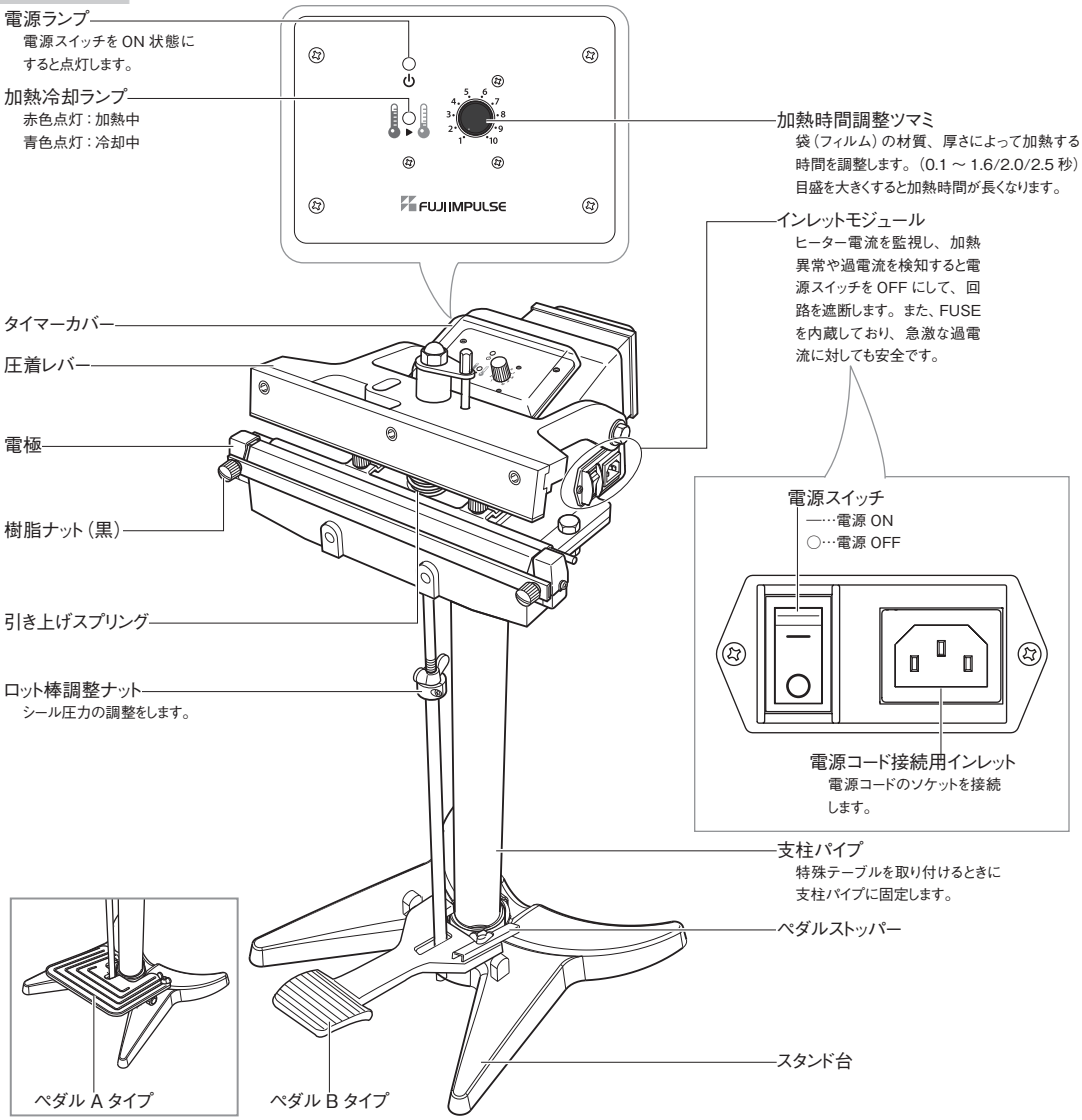
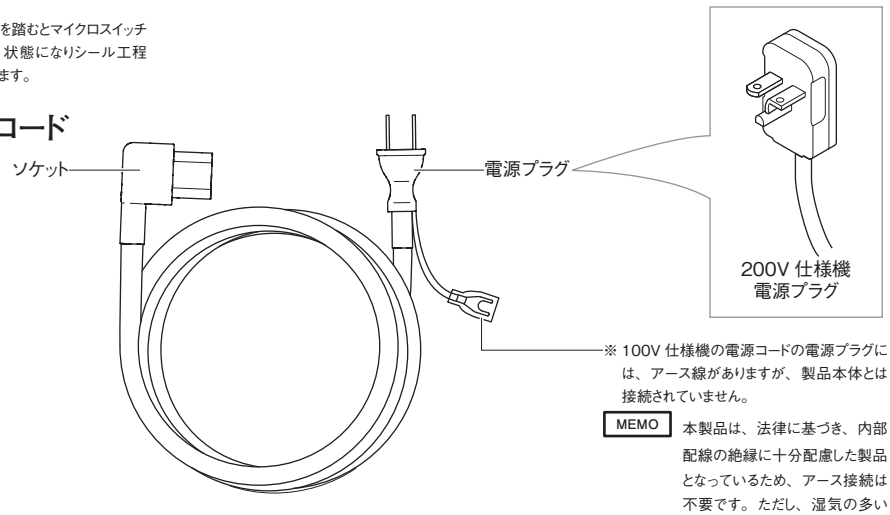
7　各部の名称とはたらき

Fi シリーズ



電源コード



※ 100V 仕様機の電源コードの電源プラグには、アース線がありますが、製品本体とは接続されていません。

MEMO　本製品は、法律に基づき、内部配線の絶縁に十分配慮した製品となっているため、アース接続は不要です。ただし、湿気の多い場所や水がかかる恐れのある場所では、故障により漏電し、感電の恐れがあるため、絶対に使用しないでください。

FiK シリーズ

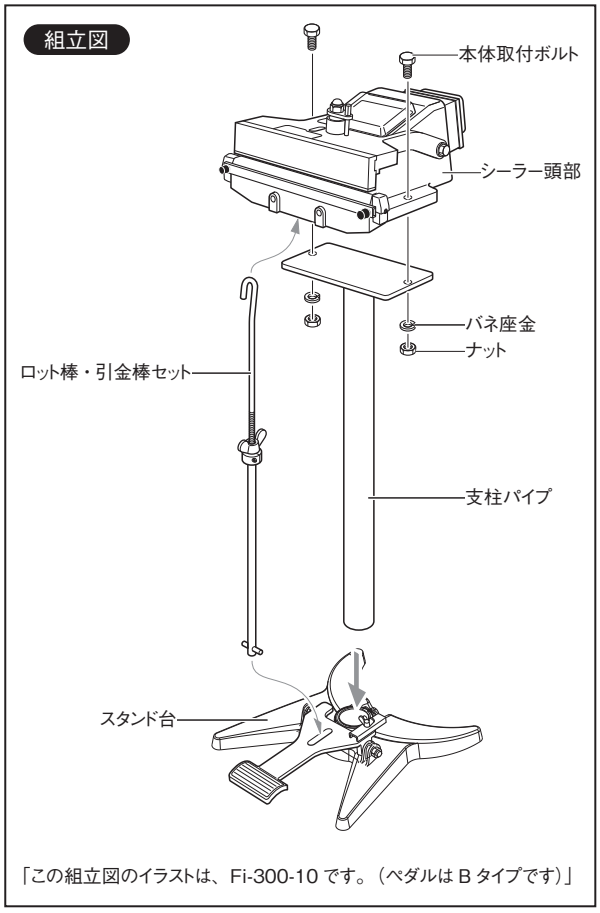
FiK シリーズ専用部品の各部の名称は、「分解図・部品表」（→ P.41）を参照してください。

8　組み立て方

製品を組み立てる時は以下の「組み立て方」をお読みいただき、正しく組み立て作業を行ってください。
以下の方法ではない間違った手順で組み立てられますと製品が正しく作動しない、故障の原因となる、などたいへん危険です。

注！　FiK シリーズは組み立てられた状態で梱包されていますので、組み立て作業は必要ありません。

梱包を開梱されましたら、「2　梱包内容」（→ P.7）に記載されてある、ご購入製品の梱包内容および附属部品が入っていることをご確認ください。

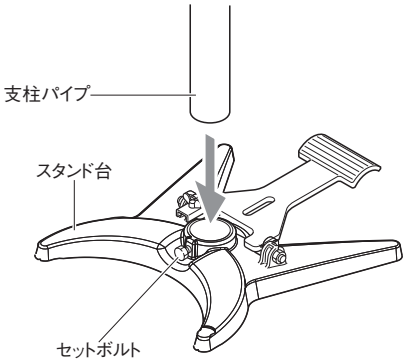


「この組立図のイラストは、Fi-300-10 です。（ペダルは B タイプです）」

8-1　支柱パイプをスタンド台に取り付ける

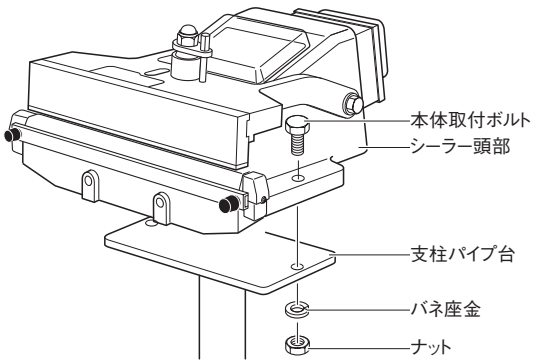
支柱パイプをスタンド台中央の穴に差し込み、スタンド台に取り付けます。

MEMO　この段階ではセットボルトを仮止め程度に締め付けてください。



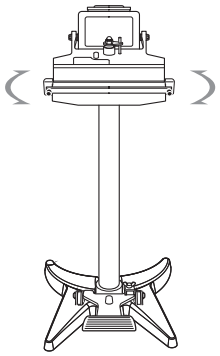
8-2　シーラー頭部を取り付ける

支柱パイプ台の穴とシーラー頭部の取付穴を合わせ、本体取付ボルトセット（本体取付ボルト、バネ座金、ナット）でシーラー頭部を支柱パイプに固定してください。
この段階ではボルトは仮止め程度にしておいてください。



8-3　各部のねじれを修正する

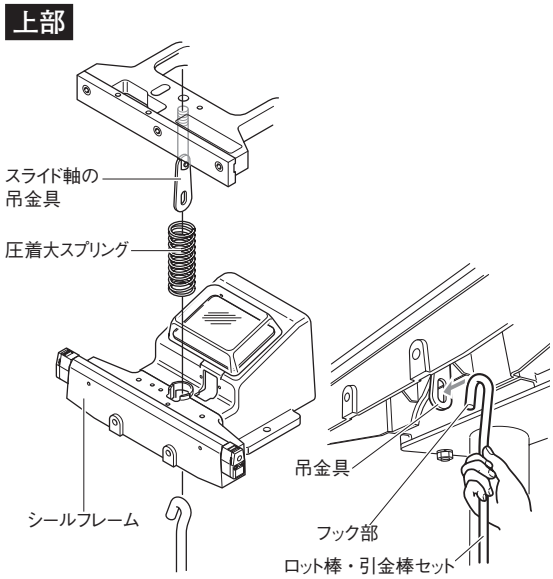
シーラー頭部、スタンド台が平行になるようにねじれを修正しながら、各ボルトを本締めしてください。



8-4　ロット棒・引金棒セットを取り付ける

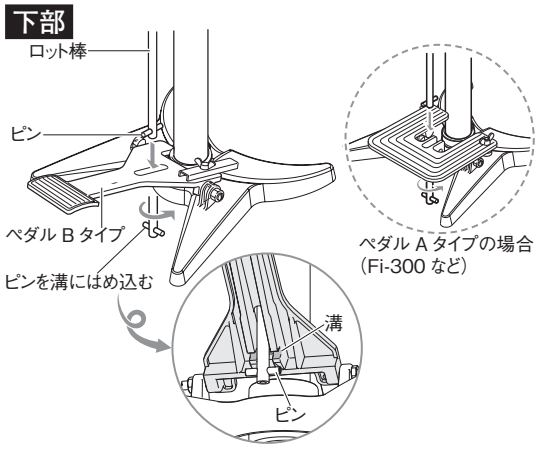
上部

スライド軸の吊金具を圧着大スプリングの中に通してください。
ロット棒・引金棒セットのフック部をシーラー頭部のスライド軸の吊金具に引っ掛けます。



下部

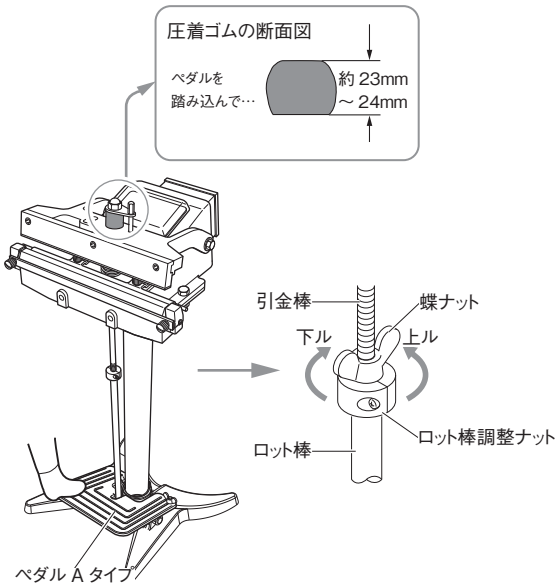
ロット棒・引金棒セットの下部分のピンをペダルの長穴部に取り付けてください。
ペダル裏側の溝にピンをはめ込んでください。



8-5　ロット棒・引金棒セットの長さ調整

1　蝶ナットを緩めます。

2　ロット棒調整ナットを
・上ル方向へ回すと引金棒の長さが短くなり、シール圧力が増加します。
・下ル方向へ回すと引金棒の長さが長くなり、シール圧力が減少します。
ペダルを踏み込んだ際に、圧着ゴムの高さが約23 ～ 24mm になる範囲でロット棒調整ナットを調整してください。



⚠ 注意　ロット棒調整ナットを下ル方向へ回し過ぎるとシール圧力が低下したり、マイクロスイッチがON 状態にならない様になり、ロット棒調整ナットを上ル方向へ回し過ぎるとペダルを踏み込んだときにシーラーが転倒したり、引金棒が折れてレバーが跳ね返ったりする危険性がありますので、過度の調整は避けてください。

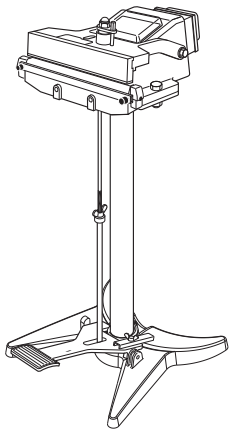
3　調整が終わりましたら、蝶ナットを締めてください。

4　ペダル A タイプのみペダル高さの調整が可能です。ペダル高さの調整をされる場合は「11-1 ペダル高さの調整（ペダル A タイプのみ）」（→ P.34）を参照してください。

8-6　完成

組立後は「9　正しい使い方」（→ P.19）をよくお読みいただき、ご使用ください。

完成図



9　正しい使い方

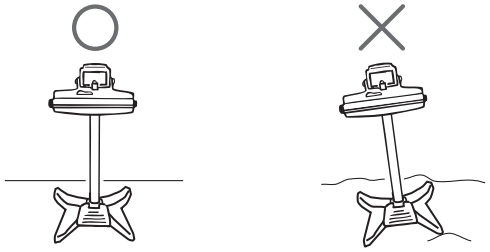
Fi 、FiK シリーズをご使用される時は「8　組み立て方」（→ P.16）を参照して、製品頭部と支柱パイプおよびスタンド台の組み立てを行った後、以下の「正しい使い方」をよくお読みいただき、お使いください。以下の方法以外の操作方法で使用されますと故障の原因となり、たいへん危険です。

注 ！　FiK シリーズは組み立てられた状態で梱包されていますので、組み立て作業は不要です。

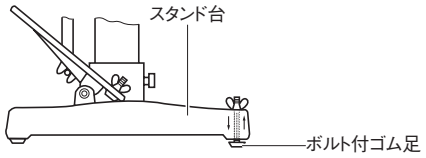
9-1　本体の設置

水平な面を持つ適切な床の上に設置してください。

⚠ 警告　水平な面を持たない床に不安定な状態で設置するとシーラーが転倒する危険性があります。



スタンド台に取り付けられているボルト付ゴム足の蝶ナットを緩めるとボルト付ゴム足の高さが調整できますので、多少の床面の高さの違いには対応できます。



9-2　テーブルの取り付け

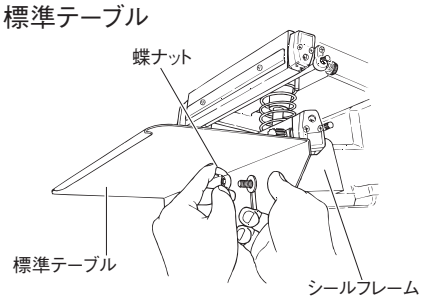
テーブルを使用されない場合はこの作業をする必要はありません。

1　標準テーブル

シールフレームに蝶ナットとボルトで固定してください。作業しやすい高さに微調整できます。

⚠ 注意　標準テーブルの耐荷重は 2kg です。
2kg 以上の物を標準テーブルに載せると、テーブルの破損、シールフレームの破損の原因となる場合がありますので、2kg 以上の物を載せないようにしてください。

1　標準テーブル

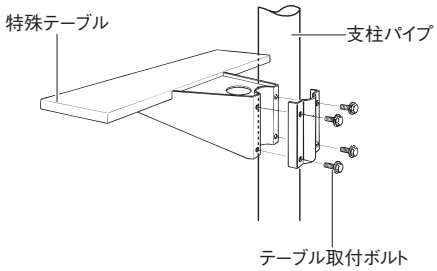


2　特殊テーブル（オプション品）

（Fi-600 シリーズでは標準テーブルになります。）
支柱パイプにボルトで締め付けて固定します。

⚠ 注意　特殊テーブルの耐荷重は 20kg です。
20kg 以上の物を特殊テーブルに載せると、製品の重量バランスが悪くなり、製品が転倒する原因となる場合がありますので、20kg 以上の物を載せないようにしてください。

2　特殊テーブル（オプション品）



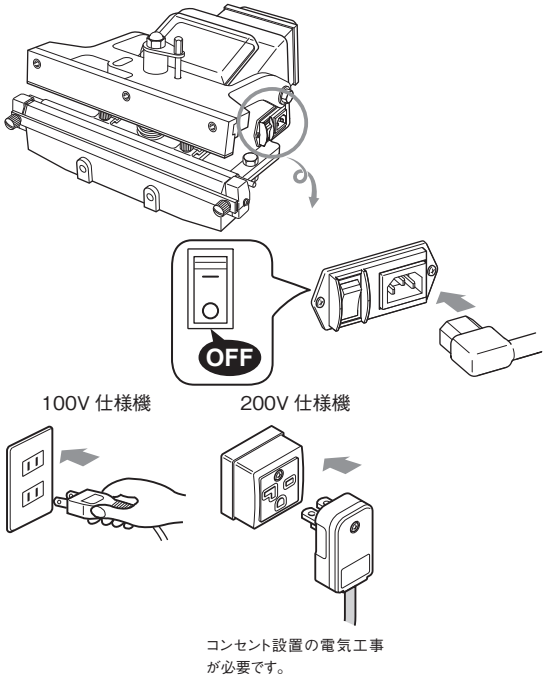
9-3　電源コードの接続

1　電源コードのソケットを機械右側面の電源コード接続用インレットに接続してください。

2　電源コードの電源プラグを「1　仕様」(→ P.6) で掲載しているお買い上げ製品の電圧・電力がとれるコンセントに確実に根元まで差し込んでください。

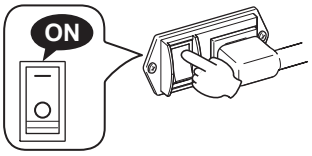
⚠ 警告　電源コードは必ず附属のものを使用してください。規定の容量に合わない場合、火災などの危険があります。

注！　電源スイッチは OFF の状態で、電源コードのソケット、電源プラグを接続してください。
電源スイッチが ON の状態で電源コードを接続すると、電源スイッチ内部の安全回路がまだ動作していないため、一旦 OFF になりますが、異常ではありません。



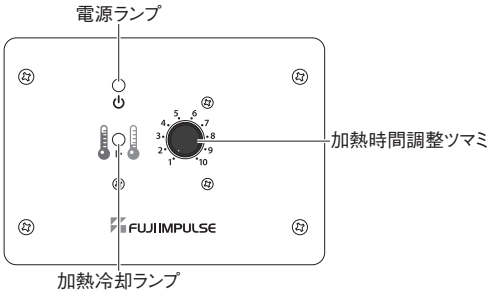
9-4　電源スイッチ ON

機械右側面の電源スイッチを押して ON 状態にするとタイマーの電源ランプが点灯します。



9-5　タイマーでシール条件を設定

タイマーで加熱時間を設定します。
タイマーカバーの手前を上に持ち上げると加熱時間調整ツマミを触れれるようになります。
袋（フィルム）の材質、厚さなどにより設定値が変わりますので、異なる袋（フィルム）を使用される時は、その都度設定してください。



●加熱時間の設定

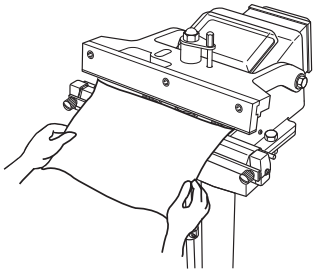
タイマー中央の加熱時間調整ツマミを回して設定します。（目盛り 1 ～ 10 の範囲）
使用される袋（フィルム）の材質により加熱時間は異なります。
シールができる最短の時間で設定してください。作業速度が上がり、部品の無駄な消耗を抑えます。

⚠ 警告　加熱目盛を大きくして、「9-7　ペダルを踏む」（→ P.22）で解説する冷却時間を取らないで連続使用すると、火災などが発生する危険性があります。

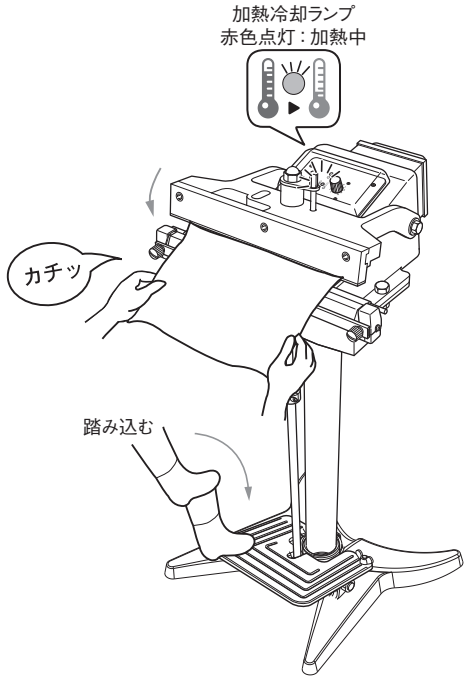
MEMO　異なる種類のヒーターへ交換した場合（組紐ヒーターからリボンヒーター、リボンヒーターから組紐ヒーターへ交換）同じ袋（フィルム）を使用されていても、加熱時間の調整が必要となる場合がありますので、シールテストを行い、必要に応じて加熱時間の調整を行ってください。

9-6　袋をシール部にセットする

袋（フィルム）を両手で持ちシワがなくなるように両手でピンと張りながらシール部に手で持っていきます。

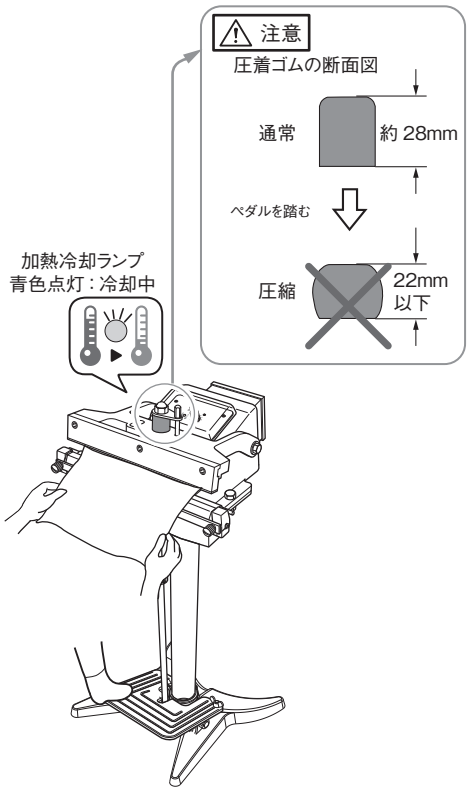


9-7　ペダルを踏む



1　カチッ音とマイクロスイッチの音がするまでペダルを踏み込んでください。加熱冷却ランプが赤色に点灯し、加熱が開始します。

⚠ 注意　必要以上にペダルを踏み込むとマイクロスイッチ等の部品を損傷させる危険がありますので、圧着ゴムの高さが22mm 以下に圧縮されるまでペダルを踏み込まないように注意してください。



2　加熱が終了すると加熱冷却ランプが青色に点灯し、冷却が開始します。

MEMO　青色の点灯時間（冷却時間）は、設定した加熱時間の 3 倍になります。

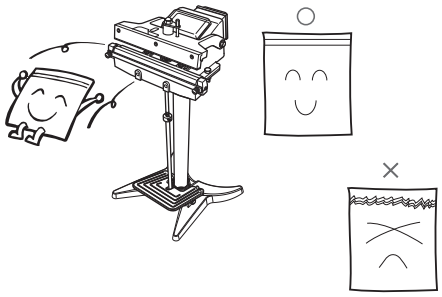
3　加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピッとブザーが鳴ると冷却終了です。ペダルを踏むのをやめ、シール部から袋（フィルム）を取り出してください。

注！　袋（フィルム）の材質、厚さによって最適な冷却時間は異なりますので、ピッとブザーが鳴っても、ペダルを踏み続けるなどして冷却時間を調整してください。

何度かシールテストを行い、設定をより良い状態に仕上げてから量産作業を行ってください。

9-8　シールのできあがり

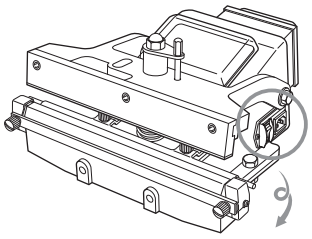
加熱･冷却終了後、ペダルを踏むのをやめ、圧着レバーを上げればシール完了です。
うまくシールができていない場合は再度、加熱時間設定をやり直したり、ペダルの踏み込む力の強弱を変えて、調整してください。



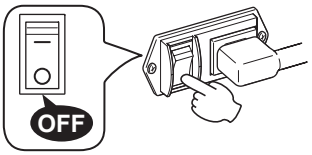
MEMO　組紐ヒーターを使用してシールを行った場合、シールの仕上がりには以下の様な特徴があります。

1. シール模様は組紐状の網目模様に仕上がります。
2. シールの仕上がりは製品ごと、ヒーター交換を行うごとに異なる場合があります。

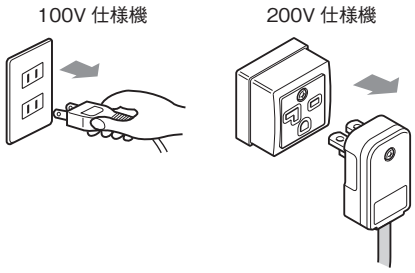
9-9　電源スイッチを OFF にする



作業が終了したら、必ず電源スイッチを押して OFF 状態にしてください。



長時間使用されない時は電源プラグをコンセントから抜いてください。



9-10　作業終了後の点検

作業が終了したら清掃を行い、フローガラスシートやヒーター等の部品が傷んでいないか点検を行ってください。
傷んでいるようであれば、取扱説明書の消耗部品交換の方法をよくお読みいただき、交換を行ってください。